

1 概要

広域振興局では、「いわて県民計画(2019~2028) 地域振興プラン(2023~2026)」の着実な推進を図るため、毎年度、構成員の皆様と意見交換するなど地域との協働により、同プランの各重点施策の取組状況について「具体的な推進方策」に設けた指標を基に評価を行い、その後の施策の立案・推進等へ反映させます。評価結果については、基本方向、現状と課題、当該年度の取組とその評価、翌年度の取組方針等の項目を調書に取りまとめ、公表します。

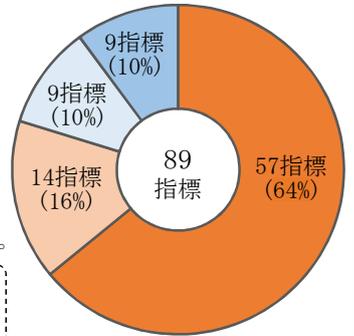
2 具体的な推進方策の達成状況

● 令和5年度県が取り組む具体的な推進方策89指標のうち、「概ね達成」以上の割合は**79.8%***1となりました。

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことなどから、令和4年度*2の68.4%から11.4ポイント上昇しています。

*1 算出方法 = (達成57 + 概ね達成14) / 達成度測定指標総数89

2 具体的な推進方策指標数：令和4年度は第1期地域振興プラン(2019~2022)の期間内であり、指標数は79。第2期地域振興プランでは、追加、改廃などの見直しを行い指標数を89としました。



【凡例】
 達成の割合 = 実績値 / 目標値
 達成 : 100%以上
 概ね達成 : 80%~100%
 やや遅れ : 60%~80%
 未達成 : 60%未満

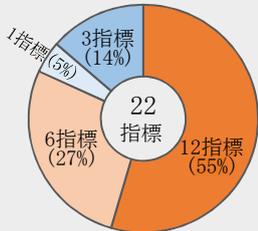
● 具体的な推進方策指標のうち「やや遅れ」又は「未達成」となった**主な要因**

- 農業、林業、水産業分野において、天候(長雨や猛暑)や海洋環境の変化等の影響で、生産量等が目標に及びませんでした。
- 社会基盤整備分野において、部品の全国的な調達難等の影響で、完了に至らない工事等がありました。

<振興施策の基本方針別の状況>

※ ゴシック体の指標は「未達成」です。

I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で豊かに暮らせる地域



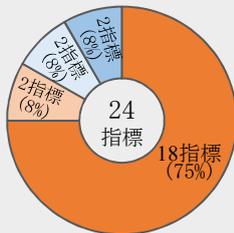
(1) 「達成」又は「概ね達成」 : **18指標**

- ①外部人材の地元定着に向けた相談・交流会等への参加者数、②スポーツ団体等との児童の交流・体験者数、③自殺予防の担い手養成研修受講者数、④いわて健康経営宣言事業所数、⑤結婚サポートセンター(i-サポ)入会登録者数 等

(2) 「やや遅れ」又は「未達成」 : **4指標**

- ①(一財)自治総合センターのコミュニティ助成申請団体数、②児童等の文化芸術の体験者数、③御所野縄文公園来訪者数、④中学校での医療人材育成に係る出前講座等参加者数

II 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域



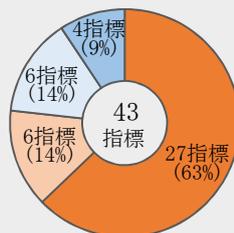
(1) 「達成」又は「概ね達成」 : **20指標**

- ①公共土木施設の復旧箇所数、②津波防災出前講座の開催回数、③市街地における交通円滑化完了箇所数、④中高生を対象とした環境セミナーへの参加学校数、⑤再生可能エネルギーに係るセミナー等の参加人数 等

(2) 「やや遅れ」又は「未達成」 : **4指標**

- ①近年の洪水災害に対応した河川改修の完了河川数、②海岸保全施設の耐震化完了数、③「地球温暖化を防ごう隊」の参加学校数、④再生可能エネルギーに係る勉強会の開催回数

III 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域



(1) 「達成」又は「概ね達成」 : **33指標**

- ①新規就農者数、②素材生産量、③中核的漁業経営体数、④食産業関係者を講師とした出前講座等の受講者数等、⑤専門家の斡旋・派遣及び支援制度採択件数、⑥他圏域との合同観光PR参加団体数、⑦「いわて女性活躍認定企業等」の認定数、⑧管内企業におけるいわて働き方改革推進運動参加事業所数 等

(2) 「やや遅れ」又は「未達成」 : **10指標**

- ①県北圏域ならではの農畜産物の販売額、②再造林面積、③漆苗木出荷本数、④新規漁業就業者数、⑤畜養によるウニ生産量、⑥食産業関連事業所への企業見学会参加人数、⑦企業向け研修会等参加者数、⑧御所野縄文公園来訪者数、⑨教育旅行等での来訪学校数、⑩県北圏域高卒者の管内就職後3年以内の離職率

施策評価の結果は、社会経済情勢等も踏まえ、令和6年度以降の施策に反映していきます。